

土器コミュニティセンター市長懇談会

○日 時：平成 30 年 8 月 21 日（火） 午後 19 時～20 時 30 分

○場 所：土器コミュニティセンター

○参加者：45 名

○担当者：市長

地域担当職員 奥田（農林水産課）・近石（下水道課）・志村（職員課）
香川（健康課）

1. 会長あいさつ

平日の夕方、おくつろぎのところ参加いただきありがとうございます。当初予定は 7 月 25 日であったが、台風で延期になった。また 19 号、20 号の台風が来ている。早めの避難を心がけていただきたい。

2. 市長あいさつ

忙しいところ、土器は台風の影響で 2 回目の開催となったが、たくさん来ていただきありがとうございます。市長懇談会は市長に就任以来、ずっと行ってきた。懇談会では地域ごとのそれぞれの意見や課題を知ることができる重要な機会である。たくさん勉強させていただいている。この中でいくつか解決していることもあるし、施策に反映させていただいていることもある。1 つの意見交換の大切な機会だと思っているので、いろいろな意見をちょうだいしたい。

台風 19 号、20 号について、情報についてお知らせする。23 日の夕方頃に警報が発令され、それまでに避難準備情報を出す予定である。避難準備情報は避難所を開設し、高齢者などすぐ動けない人のために明るいうちに出す情報である。

先月の豪雨で土器の山沿いの土砂が崩れかけた。ひと口に土器町東と言ってもそれぞれの家によって事情が異なるので、自宅の特性を把握して明るいうちに避難いただきたい。協力よろしく願います。

（第二次総合計画について）

合併後、丸亀市総合計画を作り、10 年が経過したので第二次総合計画を 8 年計画で作成し、今年からスタートしている。基本目標は「豊かで暮らしやすい 丸亀」とし、日常生活に力点を置いてさらに充実させていこうと考えている。ハード面の整備もちろんしていかなければならないが、そういった整備などを通じて生活が豊かにならないと意味がない。

基本目標に従い5つの指標を立てている。1つ目は子育てがしっかりできる丸亀にする、2つ目は日常生活が安心・安全に送れるようにする、3つ目は産業活性化に取り組んでいく、4つ目は市民の健康づくりに取り組んでいく、5つ目はコミュニティ重視、それぞれの地域に合わせたまちづくりをするというものである。5つの指標の下にプロジェクトを作り、取り組んでいくことにしている。本編はコミュニティセンターに置いているので、詳しい内容を確認していただきたい。

(都市計画マスタープランについて)

20年計画の中間見直しを行った。10年間の丸亀市のまちづくりの姿を現した計画である。ハード面、土地利用に焦点を置いている。調整区域の線引きがなくなり、無秩序状態になり乱開発が進んでおり、大変残念に思う。

今回の中間見直しでは市内にいくつかのエリアを作り、4つの拠点に分けた。合併後、広がった丸亀市の中心市街地をJR丸亀駅、丸亀城付近と改めて設定させてもらった。その地区に公共的な建物をできるだけコンパクトにまとめ、中心市街地とそれ以外を結ぶ交通網を整備していこうという計画になっている。

飯山・綾歌地区については市民総合センターを中心として考えながら、地域に合ったまちづくりを考えていかなければならないと思う。

これまでの計画と大きくは変わっていない。これからも一緒にまちづくりに取り組んでいきたいと思っている。

3.懸案事項

①青ノ山の整備について

青ノ山の環境整備とその活用とあわせて、以前より要望している田潮八幡神社のトイレの整備についてお伺いしたい。

(市長)

先日の山の日にもみなさんの協力を得てイベントを行なったが、そういうイベントだけではなくきちんと整備して欲しいという要望がかねてよりある。

緑の基本計画で、青ノ山は飯野山、綾歌森林公園や土器川、金倉川などと同じく市民の心を豊かにしてくれる、丸亀市の貴重な資源であるので、保全していくという計画になっている。また都市計画法の中にある風致地区として設定しており、都市の中での自然景観を保全していくべき場所としている。建築や造成など開発を行なう際には、市長の許可が必要である。市としても青ノ山を自然豊かな里山として守っていくとともに、維持管理を続けてまいりたいと考えている。

また魅力の発信については、里山のイベントを今後も青ノ山でしていくなど今後も PR していきたいと考えている。

トイレについては、平成 27 年度より倒木や伐採木の撤去、案内看板の整備を行ない、昨年度には青ノ山山頂の和式の汲み取りトイレを、ほとんど給水を必要としない洋式の水洗トイレに改修した。田潮八幡神社内にトイレを設置するという要望はかねてからあるが、神社の土地であり、以前のトイレは地元有志が整備したという経緯もあるので、どのような方法が取れるのか、他の地区とのバランスをみながら地元とさらに相談し協力して設置する方向で頑張りたい。

②川古地区の整備について

宮池では、四国八十八景にも選出されたダブルダイヤモンド富士の撮影期間やその期間以外にも観光客が多く訪れるようになっている。地元としては大変喜ばしいことだが、違法な駐車などで周辺住民の生活環境が悪化しているように思う。公園や駐車場を整備してもらいたい。

(市長)

素晴らしい景観のため、車でたくさん訪れる人が増加し迷惑していると思う。しかし地域の中の駐車状況の改善のために市が駐車場を整備することは、市内全てに駐車場を整備していかなければならないということになりかねない。自治会内でも相談してきたと思うが、市が駐車場や公園を整備するのは難しい。公園にも整備計画があり、土器地区は優先的に公園を整備する地区ではない。優先的に整備すべき地区から整備していかなければならない。いろいろな方法を一緒に考えていきたい。

③市道丸亀土器東西線の交差点付近の一部拡幅について

青山ホテル交差点から東の田潮神社へ通じる市道丸亀土器東西線の交差点付近は、通学路になっている。交差点を西に進行する車両が信号で停車時に、交差点より東に進入する車両があった場合、高齢者や子どもの歩行が困難になっており、雨天時は傘をさすためとても危険である。一部拡幅をお願いしたい。

(市長)

指摘いただき、担当課で朝の混雑時に現地確認させていただいた。状況確認できたので、交差点改良をするということでこれから準備に入りたいと思う。交差点改良が必要な場所は、立地条件などがいい場所のため地権者の協力がなかなか得られないということがあり、改良まで数年、数十年かかる場合がある。地元で地権者とお話ができるということがあれ

ば、協力をお願いする。

4. 自由討議

①空き地の適正な管理について

(男 性)

昨年もお願ひした空き地の雑草について、かなり生い茂り森みたいになっている。昨年は条例を作って取り組まなければならないと言っていたが、いつ作るのか。元西日本鉄骨の土地など、ひどい状態である。秋になれば枯れ、その枯れ木がどんどん増え山のようにになっている。近隣住民は火事になりそうでとても不安に思う。市では所有者に対しお願ひをしているようだが、持ち主がいつ対応してくれるのかは決まっていなかつたことだつた。所有者に空き地の管理をきちんとして欲しい。例えば空き地の地目を全て宅地にして、固定資産税を課税するなど何らかの方法で整備されない空き地対策をして欲しい。毎回言っているが、全く進展しないので、いつ前に向いていくのか返事して欲しい。

(市 長)

近隣の住民の方には深刻な問題だと思ふ。引き続き持ち主との話し合ひをしているが改善されていないので、もう少し厳しい姿勢で取り組んでいかなければならないと考へている。条例を作つて対応しなければいけないと思つているが、条例の制定までは時間がかかる。西日本鉄骨の件については、所有者に再度お願ひし、どのようになつたか後日回答する。(一ヶ月以内)

②市道土器線の歩道の拡張について

(女 性)

以前より陳情させていただいている土器線の歩道橋あたりの狭い歩道について、全く進展していない。どのようになるのか。子どもたちの通学路でもあるので早急に対応して欲しい。

(市 長)

ずっとお話を伺っている。いろいろな部署へ相談しているが、なかなかいい解決方法が見つからない。車道を狭くするか道路を拡張するか二つに一つしかない。全市を見渡せば危険箇所はたくさんある。限られている予算の中で優先順位をつけて行っている。他の地区とバランスを考へてやっていきたい。地権者の協力が得られるという話も聞いているので、引き続き努力させて欲しい。

③浸水対策の推進について

(男 性)

宮池の貯水量は10万トンでとても大きな池である。ハザードマップでも堤が決壊した際、何分で何メートル浸水すると表している。本日、宮池東側堤防の天端に40メートルほどの亀裂が生じた。市、県、水利組合が改修の協議したところである。早急に対応しなければならない。土地改良事業で改修する場合、2割の自己負担が必要である。このような修繕などのために少額ではあるが水利費を集め、積み立てているので、小額であれば負担は可能だと思うが、修繕費が高額だった場合、積立金では足りず支払えない。大掛かりな改修工事が必要になれば、市でいくらか補助してもらえないか。南中学校の生徒が部活動で利用している。危険なので立ち入り禁止としている。今後、修繕が必要になった場合、水利組合でお願いに行くと思うがよろしく願います。

(市 長)

まだ報告を聞いていないが、聞いて状況を把握したい。土地改良事業について農家の負担増加について最近大きな問題となっている。受益農家が減り、一戸あたりの負担が増加している。改善が必要ということで、平成26年度に5~10%自己負担を引き下げた。大きな工事になったときに困るので、県にも問題意識があると思うので、コミュニティ防災ということで、宮池の事例をひとつの事例として防災の観点から公費を負担する方法を考えてみたい。今後ともよろしく願います。

④砂防ダムについて

(男 性)

先日の大雨で砂防ダムがいっぱいになっている。市の担当者も確認していると思う。砂防ダム横の畑が崩れ、持ち主が1人で処理した。青ノ山団地のすぐ上なので、今度大雨になると、家に土砂が流れてくる可能性が考えられる。砂防ダムの砂を土のうに使うという方法を検討してもらえないか。青ノ山では3ヵ所で土砂崩れがあった。市も把握していると思う。早く対応しないと同じような被害が発生すると思う。

川に砂が流れ込んできている。どこかから土砂崩れからの砂が流れてきているようだ。あわせて検討してもらいたい。

(市 長)

台風が接近しているので、前回被害があった場所を木曜日までに確認し回答する。

(回答済)

例えば個人の家のまわりに土のうを積むということを全て市がすることは不可能で

ある。その土地の状況や管理状況などを見ながら可能な範囲で対応していく必要がある。今後情報提供をお願いします。

⑤防災士の養成について

(男 性)

自助・共助の取り組みには正しい知識を持った防災のリーダーが地域には必要だと思う。民間の資格ではあるが、防災士は最近認知されている。自治会加入者や未加入者にとらわれないブロック組織や防災組織を作ってみてはどうか。そのために市で積極的に防災士を養成して欲しい。

中讃地区では90名、土器地区では3名の防災士がいる。土器地区を9ブロックに分けているが、各ブロック5名ずつの防災士を配置すると全員で45名の防災士が生まれる。防災のまち土器を目指して、ぜひ積極的に防災士を養成して欲しい。防災士養成講座は高松市で行なっている。6ヶ月間講習を受けなければならない。受講したいと思うが、高松へ通う自信がない。2日間で完了するものもあると聞いている。ぜひ地元開催して欲しい。

南海トラフ地震や他の災害に向け、ブロック組織や防災組織といった第3の組織を作って、自治会未加入者であっても防災士が引っ張っていくような組織を作っていたきたい。

(市 長)

災害について、ハード面で防ぐということは多額の予算がかかる。防災士の養成は非常にコストパフォーマンスが高いと思う。防災士が地域でたくさんいることによって、防災に対する意識レベルは格段に上がる。これまでも受講料の補助を行なってきたが、地元で受講できるように体制作りを合わせて考えていきたい。

⑥危険なブロック塀への対策について

(女 性)

大阪北部地震のブロック塀の倒壊事故を受け、土器地区でまち歩きを行なった。見るからに危険なブロック塀が何ヶ所もあり、高く積み上げているブロック塀もあった。危険なブロック塀の所有者に地区の方がお願いして修繕してもらうのか。他の地区の方は危険なブロック塀への対策をどう考えているのか知りたい。

(市 長)

さっそく歩いていただきありがとうございます。市では学校施設などの安全点検を

行なった。不適合箇所が 6 箇所見つかり、今年度中に改修予定としている。また公共施設の点検も行なったところ危険なブロック塀が 55 箇所見つかった。これも今年度中に改修予定である。問題は民間の危険なブロック塀をどうするかということである。やはり所有者にお願いするしかないが、改修費用の補助などがあればお願いしやすいと思う。補助については、現在、県でも検討中であるので歩調を合わせて検討していきたい。地域で改修のお願いをしても聞いてもらえない場所や所有者が不明の場所があれば市から通知するので相談して欲しい。危険なブロック塀だという張り紙をするのもひとつの方法だと思う。地域の実情をみながら対応していきたい。点検の依頼は市にして欲しい。

(男 性)

ブロック塀について、城東小学校の校庭開放委員会に入っている。大阪北部地震を受け、文科省から点検するようにとのことで、校長と教頭先生が見回っていた。危険な箇所について、コミュニティでは把握できているが先生は把握できていなかった。児童が亡くなったという事故があったから見まわるのではなく、コミュニティに聞き、情報共有すべきだと感じた。地域での横のつながりは大切だと思う。

(市 長)

コミュニティで防災などの話し合いをする際には、先生も呼んだ方がいいと思う。お互いに声かけあって、地域の課題を解決して欲しい。

⑦古子川の治水について

(男 性)

7月上旬の西日本豪雨で倉敷市真備町ではバックウォーター現象が発生し、小田川が氾濫し大きな被害になった。高梁川と小田川は土器川と古子川の状況、関係と全く同じだと思い、とても心配している。平成 16 年の台風 23 号の際、古子川が堤防を越流し、高津地区が浸水した。昔は越流しても田があり貯水機能があったと思うが、古子川の西側に住宅が多く建築され越流しやすくなっており、危険な状況になっているように感じる。土器川と古子川では堤防の高さが違っている。土器川の水位が高くなったときに、古子川の水が流れていかず古子川がどんどん増水するのではないかと思う。平成 16 年にポンプを稼動する際、ゴミが詰まっており作動しなかったと聞いている。またそのようなことが起きるのではないかと高津地区では心配している。ポンプ増強か古子川の改修を検討していただきたい。含めて県に強く要望していただきたい。

(市 長)

古子川の問題については、土器川の方が高いのでポンプで水を排出する必要があると認識している。ポンプが必ず動くように整備点検することが大切だと思っている。大雨が予想されたら必ず点検している。台風のたびに国交省で大型のポンプ車を借り、今は西汐入川に設置している。おかげで一定の効果をあげている。根本的に古子川の問題を解決するには、県と引き続き協議し、要望していかなければならない。継続してやっていきたい。

(男 性)

古子川の越水は清水川にまで流れていく。清水川と土器川の接点には水門がある。その場所にはポンプもなにも設置されていない。古子川にはポンプがあるが、清水川にはなにもないので、水かさがとても上がる。清水川の河口付近を検討の中に入れて欲しい。

(市 長)

国交省の大型ポンプ車は常設のポンプと同じような性能があるので、借りた際には必ず設置したい。一番現実的な解決方法だと思う。

⑧温水プール建設について

(男 性)

2～3年前、丸亀市に温水プールの建設を要望した。全く計画がないとの回答だった。城内やスポーツセンターのプールが撤去され市内に市営プールが1つもなくなった。以前、クリントピア南側に建設計画があったが立ち消えになってしまった。会員制のプールはあるが、市民誰もが利用できる市営温水プールを市民の健康増進のためにも建設していただきたい。

(市 長)

温水プールについては、あるにこしたことはない。例えば多度津町にある温水プールでは維持費がたかさんかかり赤字だと聞いている。また宇多津町では老朽化しており建て替えの必要に迫られていると聞いた。各市町にひとつずつなければならぬのかということを考える必要があると思う。11万人都市には温水プールが必要だという気持ちはあるが、近隣市町にもあり、民間のプールも近くにあるということであれば、少し優先順位があとになってしまう。多度津や宇多津町のプールがなくなった場合、広域で作るということも考えられると思う。今はまだ検討段階にはならないと思う。

クリントピア建設時に余熱利用でプール建設計画があったが、産業廃棄物が見つかりなくなったと聞いている。長期間放置しておくわけにはいけないので、将来的に考

えていくようになった場合に温水プール建設計画も含めて検討していく。クリントピアは長期間使用できる建築物なので、含めて宿題として考えてみる。

⑨青ノ山のトイレ整備について

(男 性)

青ノ山のトイレの答えはどのようなものか。具体的に説明して欲しい。

(市 長)

設置する場所、予算について設置するための具体的な方法論を検討しなければならない。所有者が了解したからといって、民地に市の建物を作るのはどうかという議論もあり、法的な問題もある。法的な問題が解決できれば、早い段階で検討していきたいと思う。

⑩敬老会について

(男 性)

敬老会の参加者の案内が今年から 76 歳になった。経緯を教えて欲しい。

(市 長)

敬老会については以前より議論があった。年度初めより市民のみなさんにアンケートも取らせていただいた。意見としては、80 歳からというのが大半であった。段階的に 80 歳にしていこうと決定させていただいた。

(男 性)

敬老会の趣旨は高齢者を敬うということでスタートしたと記憶している。健康年齢は 75 歳、平均寿命が 80 歳。とすると、もうすぐ命がなくなる頃に敬老会に呼ばれることになるのではないかと思う。段階的に 80 歳になるということで、今年 75 歳になる人はずっと何ももらえない。不公平感がある。

(市 長)

段階的に 80 歳にしていくことで、浮いた予算を高齢者のための施策に振り替えるということを考えている。75 歳未満の方には申し訳ないが、ご理解いただきたい。

⑪市道丸亀土器東西線の交差点付近の一部拡幅について

(男 性)

懸案事項 1 の丸亀土器線、青山ホテル交差点から田潮神社へ通じる交差点付近について、逐次検討していると言っていたが、順位づけはどのようなになるのか。

(市長)

あの交差点は改良する予定なので、用地買収ができればすぐに対応したい。

(男性)

用地買収を地元で交渉できれば、早く対応してもらえるのか。

(市長)

そのように考えている。

⑫ハローズ駐車場地下の遊水地について

(男性)

ハローズが建設されるまでは田で水路の流れもゆったりしていたが、デベロッパーが開発をする時に、遊水地を駐車場の地下に設けると聞いた。最近になり、自治会内の水路の水位がどんどん上がってきているように思う。遊水地を有効活用しているかどうか疑問である。管理はどこがしているのか。調べて欲しい。

(男性)

上分水利組合では管理していない。

(市長)

調べて返事する。

⑬青ノ山の展望について

(男性)

青ノ山の展望について、毎年お願いしている。8月号の広報紙にも里山特集をしていたが、遊歩道を整備しているので、子どもや初心者でも気軽に登れる身近な里山、瀬戸内海の島々が一望できると書いている。丸亀城が一望できるとは書けないので書いていない。木を伐採して展望所を何ヶ所か作っていただきたい。頂上の展望は木がたくさん茂って全く見えない。昨年とほとんど変わっていない。市で対応はできるのか。親しみやすく、みなさんが登って喜ばれる山にして欲しい。

(市長)

国や県の保安林である。国や県と相談しながら対応している。丸亀城側の展望でもう少し木が切れるかどうか相談するが、自然の保存と眺望のバランスをとりながら対応していかなければならない。全て切ってしまうわけにもいかない。平成27年から事業家し、順次対応している。伐採するのも費用がかかるので、計画的に眺望が可能な樹木の伐採を考えていきたい。

⑭ 市民会館建設について

(女 性)

市民会館建設はどのような計画になっているか、場所や時期について教えて欲しい。

(市 長)

現在の税務署と生涯学習センター付近に建設する予定である。時期については、市庁舎の完成が2020年秋頃を予定しており、その後税務署等を解体できるようになるので、それから設計を始め、3～4年後になるのではないかと思う。現在、どのような市民会館にするか車座集会で議論している。みなさんも参加して欲しいと思う。市民みなさんが普段使いできるような市民会館を目指したいと考えている。

(女 性)

市民会館が解体され、建物がなくなったせいか丸亀城が大きく見えてすごくいい。お城前に建つ市庁舎などの高さを低く空間を工夫して欲しい。

(市 長)

お城の周辺は高さ25mの制限があるのでその範囲内で建設する。市庁舎や市民会館は東側に寄せて建設予定なので、ちょうどお城が見える辺りは広くなり眺望が残せるようになり、今よりもお城がよく見えるようになるのではないかと思う。眺望を壊さないように検討している。